



2018「JCF 公認 Coupe du Japon MTB」テクニカルガイド

20180128

Coupe du Japon MTB (略称; C J) とは
正式名称「JCF 公認 Coupe du Japon MTB」(クップ ドュ ジャポン 略称を「C J」と記載)は国際自転車競技連合(以下UCI)規則に従って行われる国際大会等の国内で開催される一連の大会です。本ガイドは共通事項を取りまとめたもので、全日本選手権大会、JOC ジュニアオリンピックカップ/全国ユース選抜大会など各個別の大会要項が優先されます。

1. 大会名称
Coupe du Japon MTB (クップ ドュ ジャポン MTB)
「Coupe du Japon MTB ****」各大会名称の標記
- 1.2. 大会クラス
 - ① UCI 公認国内開催大会 (CJ-U) 一部アジアマウンテンバイクシリーズを含む
 - ② 全国レベル公認大会 (CJ-1)
 - ③ 地区レベル公認大会および、上記①、②以外の公認大会 (CJ-2)
2. 開催競技種目
次の種目から行われる(複数開催あり)
 - ① エンデュランス系
 - ・クロスカントリー・オリンピック (XCO) ・クロスカントリー・エリミネイター (XCE)
 - ・クロスカントリー・マラソン (XCM) ・クロスカントリー・ステージレース (XCS)
 - ・クロスカントリー・ショートサーキット (XCC) ・クロスカントリー・リレー (XCR)
 - ・クロスカントリー・タイムトライアル (XCT) ・クロスカントリー・P t o P (XCP)
 - ② グラビティ系
 - ・ダウンヒル・インディヴィデュアル (DHI) ・ダウンヒル・マラソン (DHM)
 - ・フォア・クロス (4X)
 - ・エンデューロ (END)
 - * 種目によりポイント対象とならないものもある。
3. 競技者クラス
次の公認クラスを男女とも設定する。
A:UCI カテゴリ
 - ① エリート; エンデュランス系 19 歳以上 (含 U23; 19~22 歳)、グラビティ系 17 歳以上 (含ジュニア; 17~18 歳)。
 - ② ジュニア; 17 歳および 18 歳 (エンデュランス系のみ)
 - ③ マスターズ; 30 歳以上の競技者でこのクラスを選択した登録者。40, 50, 60 の別設定あり。
 B:JCF カテゴリ
 - ④ ユース; 14~16 歳。
 - ⑤ アドバンス; 17 歳以上 (中級者クラス)
 - ⑥ チャレンジ; 17 歳以上
 - ⑦ カデット; 13 歳以下のクラス。このクラスの実施については主催者による。
 - 主催者により、これら以外のクラスによる競技が行われる場合は、UCI カテゴリ、JCF カテゴリでの名称と異なったもの(例:小学生高学年クラスなど)にて行われる。これらは臨時登録により行われる。年齢は当該年より生年を引いた値にて表す。

2017 年度より開始されているジャパン・スーパーキッズ・プロジェクトへの参画について推奨する。
4. 競技規則
大会は最新 UCI (国際自転車競技連合) 競技規則および JCF (公益財団法人日本自転車競技連盟) 競技規則および大会特別規則による。

5. 参加資格
本年度有効な UCI 加盟国連盟発行の競技者ライセンスを所持し、JCF マウンテンバイクチーム登録をおこなっている者。
- 「JCF 公認 Coupe du Japon MTB」への出場には、競技ライセンスとともにチーム登録が必要である。ただしカデットクラスの競技者を除く。
- 5.1. ライセンス
公認クラスへの参加には、当該年度有効な JCF ライセンス、または UCI 加盟国発行の有効なライセンスが必要。ただし公認クラス以外の大会主催者が設定するクラスへは各大会時の臨時登録により参加できる。これらの区分については大会テクニカルガイドによる。臨時登録費については各大会ごと徴収され都道府県連盟を通じて JCF に送付される。
参照：競技者の登録方法／平成 25 年度の競技者登録料について（2012/12/13 付）
http://jcf.or.jp/?page_id=252
- 5.2. チーム登録
チーム登録については、登録サイトによりチーム代表者が手続きを行う。
- 5.3. 参加については下記の項目について遵守、許諾するものとする。
・競技中は、競技規則に従って行動し、参加者全ての行動に責任を持たなければならない。
・競技参加にあたり、競技中、競技に関連して起こった障害、死亡、事故等で受けた損害に対し、主催者及び大会役員、会場管理者、参加競技者に対し非難や責任の追及、または損害賠償の請求はできない。
・コース以外の場所については最徐行し、不必要な走行はしてはならない。
・会場内全てにおいて、常時清潔に保つように心がけ、ごみ等は必ず持ち帰ること。
6. チーム
- 6.1. チームの構成
マウンテンバイク・チームは JCF 公認 Coupe du Japon MTB 大会、全日本選手権大会に参加することを目的に、下記から構成される団体である：
最少 1 名から最多 10 名の有効な JCF/UCI ライセンス（年間）を所持する 14 歳以上の競技者で、各クラスに該当する者、および、最少 1 名から最多 6 名の役員。（競技者と役員は兼務が可能）
- 6.1. チームの名称
チームの名称には、他のチームまたは団体と明確に区別できる固有の正式名称を持たなければならない。チーム名称は、暦年中に変更することは出来ない。
- 6.2. チーム登録者の条件
競技者全員が、年度有効な JCF 登録者（更新手続き中を含む）、または UCI 加盟国連盟の有効な登録者であること。競技者は、暦年中に常に一つのチームにのみ所属することができる。チーム役員は、UCI 加盟国連盟登録者、チームアテンダント登録者、日本体育協会公認のコーチ、指導員等の資格取得を強く推奨する。
- 6.3. 登録
チームは毎年度、登録手続きを行わなければならない。
チーム及びその構成する競技者は、**参加資格および保険適用のために各出場大会の開催前月までにチーム登録がされている必要がある**。登録がされていない競技者について主催者または連盟は参加を拒否する権限を有する。その場合においても参加費の返還は行わない。
- 6.4. 保険
チーム登録競技者は、JCF 管理下（主催、主管、公認等）での傷害保険および賠償責任保険に加入する。（<http://www.sportsanzen.org/>）補償対象については保険会社の約款による。
登録申請遅れや臨時登録により保険加入がされていない競技者が大会に参加した場合の保険加入は競技者自身の義務となる。
- 6.5. UCI 登録マウンテンバイクチーム
UCI 登録チームが本制度登録の場合には、既登録と同じ構成、内容でなければならない。
- 6.6. チーム臨時登録
日本以外の UCI 加盟国連盟登録競技者が、大会参加を目的とする場合に臨時チーム登録を行うことができる。種別はナショナルチーム、UCI チーム、各国連盟登録チーム、個人である。

- 6.7. プレミアチーム
 プレミアチーム 登録基準
 当該年度の最低1名のエリート登録者、または登録時点でUCI個人ランキング保持者を最低1名有すること。**プレミアチームの登録は毎年5月末日までとする。**
- 6.8. チームジャージ
 プレミアチームは、登録の提出時に、各チームのチーム・ジャージの彩色、レイアウトデザイン、スポンサーのロゴを含めて提出する。この規則はグラヴィティ系プレミアチームには適用しない。広告に関しては、UCI規則1.3.037, 1.3.048による。
 男子用と女子用の色彩は異なってもよいが、この場合2つのデザインを提出すること。
- 6.9. チームの権利
 登録したプレミアチームは、チーム登録規程第4条にある権利を有し、次のような恩恵が受けられる：
 - この条項は確定した時点で発効する。それまでの間におけるこのようなサービスについては各主催者により有償または無償で提供されることがある。
 ・公認大会における技術スペースの無料提供（18m²）
 ・チームあたり1枚の駐車パス
 ・フィードゾーン・パス（実施済み）
 ・フィードゾーンにおける、セパレートされたスペース（実施済み）
 ・情報サービスと発表
 ・主要なイベント会場におけるサービス（全日本選手権大会を含む）。

6.10 チームの構成、登録方法

スタンダード・チーム

JCF 競技登録者による構成（昨年度の競技成績は問わない）

チーム 登録費	チーム年会費	3,000 円（1チームあたり）
	所属競技者	2,850 円（1名。中学生 1,450 円） （傷害、賠償責任保険料が含まれます）

プレミア・チーム

JCF 競技登録者で、次の者が1名以上所属しなければならない。

- ・当該年度 UCI 登録チーム所属競技者 または、
- ・当該年度 2017UCI 個人ランキング保持者 または、
- ・当該年度エリート登録者

チーム年会費	3,000 円 + 17,000 円（1チーム）
所属競技者	2,850 円（1名あたり） （傷害、賠償責任保険料が含まれます）

競技者の追加登録について

競技者の追加登録については、サイトよりスタンダード・チーム登録にて同じ代表者が同じチーム名、チーム情報を入力した後に、通常通り手続きを行う。

競技者追加手数料（プレミア/スタンダード共）	3,000 円（1件）
所属競技者	2,850 円（1名。中学生 1,450 円）

競技者の退団について

- ・チームからの退団：チーム代表者より次の情報とともにメールにてお知らせください。
 チーム名、代表者名、代表者連絡先、対象競技者名、対象競技者連絡先、退団理由
 メール題名：「チーム登録者退団届」 mtb@jcf.or.jp

※注1；チーム登録費算出例；

- ケース1 スタンダード：競技者3名、1名のマネージャー、1名のメカニックの場合
 チーム年会費3,000+(競技者3名×@1,000)+(保険料3名×@1,850)=11,550円（スタッフ登録費不要）
- ケース2 スタンダード：競技者1名、1名のマネージャー（競技者兼務）の場合（競技者、マネージャー同一）
 チーム年会費3,000+(競技者1名×@1,000)+(保険料1名×@1,850)=5,850円
- ケース3 プレミア：競技者3名、1名のマネージャー、1名のメカニックの場合
 チーム年会費20,000+(競技者3名×@1,000)+(保険料3名×@1,850)=28,550円（スタッフ登録費不要）
- ケース4 プレミア：競技者1名の追加の場合
 追加手数料3,000+(競技者1名×@1,000)+(保険料1名×@1,850)=5,850円

各ウェブ決済手数料、通信費等は含まれません。

※注2;加入保険は「スポーツ安全保険」CまたはBとなります。内容はチーム所属選手を対象にJCF管理下(主催、主管、公認等マウンテンバイク大会)での事故により本人が傷害を被った場合、保険金額(死亡 2,000万円-600万円、後遺障害(最高) 3,000万円-900万円、入院(1日につき) 4,000円-1,800円、通院(1日につき)1,500円-1,000円)。賠償責任保険として支払限度額(身体・財物賠償合算1事故5億円、ただし身体賠償は1人1億円)。登録日より保険加入手続きが済んでいない場合は適用されず、大会への参加ができない、または別途保険料の徴収がある場合があります。また、登録終了しても保険約款により対象とならない場合があります。詳しくは、「スポーツ安全保険」の約款等をご参照ください。

<http://www.sportsanzen.org/>

※注3;JCF登録時の保険内容(個人賠償責任補償)については下記を参照のこと。

<http://jcf.or.jp/>

※注4;臨時登録では各保険対象とはならないので各自保険加入を行うことが必要です。

※注5;エリート競技者が所属していてもスタンダードチームの登録が可能です。

6.11 チームの移籍

原則、シーズン中の他チームへの移籍はできない。

但し、移籍元と移籍先の双方代表者の了承がある場合には認められる。移籍については、現登録チーム代表者よりの退団届け、および新たにチームへの追加登録が必要となる。個人の以前のポイント等は喪失する。これに関する如何なるクレームについても関与しない。

7. ランキング

公認クラスにおいて個人ランキングを作成する。

7.1. Coupe du Japon ランキング (個人)

① 当該年度のCJ-UまたはCJ-1の高得点大会を集計してランキングとする。

② ポイント集計とする対象大会数の算出は、当該年度のCJ-U、CJ-1の大会合計数に65%を掛けて算出(小数点以下は切り上げ)する。同ポイントは全日本選手権大会上位、以降CJ-U、CJ-1直近大会上位を優先。

③ ポイント表 別表

クロスカントリー大会開催時での事前のタイムトライアル、および、ダウンヒルでのクオリフィケーションについては、その合計ポイントを、その大会での獲得ポイントとする。

④ クラス変更があった場合、ポイントの移行は出来ない。

⑤ CJ-UまたはCJ-1の最終大会において年間表彰が行われる。年間表彰対象クラスは、次の通り。エリート、ジュニア(XCのみ)、マスターズ、ユース。

7.2. ナショナルランキング (個人)

① 当該年度の全日本選手権大会および、その他すべての公認大会の高得点大会を集計してランキングとする。

② ポイント集計とする対象大会数の算出は、全日本選手権大会と当該年度のCJ-U、CJ-1の大会合計数に65%を掛けて算出(小数点以下は切り上げ)する。同ポイントは全日本選手権大会上位、以降CJ-U、CJ-1直近大会上位を優先。

③ ポイント表 別表

④ クラス変更があった場合、ポイントの移行は出来ない。

7.3. チームランキング

① プレミアチームで、エンデュランス系とグラビティ系とに分けて集計する。

② チーム所属競技者(対象;エリートおよびジュニアクラス)のCoupe du Japon ランキング高ポイント獲得者2名の合計ポイントとする。同ポイントの場合、男子エリート上位、女子エリート上位、男子ジュニア、女子ジュニアの順(以降繰り返す)となる。

③ CJ-UまたはCJ-1のシーズン最終大会において年間表彰が行われる。

8. レジストレーション

大会参加を希望する競技者またはチーム代表者は事前に大会主催者が用意する受け付け手順により登録する。多くはウェブサイトでの手続きとなる。

参加申請競技者は、大会主催者が定めるその締切を遵守する義務があり、締め切り後の手続きについて参加が許可される場合にはペナルティフィーを必要とする。しかしながら選手確認を過ぎてからの参加は許可されない。

次の競技者は参加費を免除される。UCI エリート登録チームの所属競技者。

8.1 大会会場においてナンバーなどを受け取るレジストレーションを行なう。この際には有効なライセンスを提示しなければならない。

エントリーリストには次の項目が最低限含まれ五十音順となる。

種目 BIB クラス 氏名 フリガナ 生年月日 UCI ID チーム名 JCF 都道府県



9. ナンバー
 ナンバープレートは、CJ-U, CJ1大会に最初に参加する際に、与えられた番号を年間使用する。
競技者は配布されたナンバープレートを管理し、次回大会参加時に持参する。
 ボディナンバーは、大会ごとに配布されるものを装着する。
- クラスにより次のカラーを使用する。
 エリート：白地に黒ナンバー、ジュニア/ユース：青地に黒ナンバー、
 マスター：黒地に白ナンバー、女子：ピンク地に黒ナンバー
- 紛失、未所持、破損の場合には、コミッセールに申請して新しいナンバーを受け取る。
 配布済みのナンバープレートの紛失、未所持の場合には手数料を徴収する。
 (仮番号1,000円、紛失再発行2,000円)
- 9.1. ゴールドナンバー
 昨年度エリート上位(男子6位、女子3位まで)にはゴールドナンバーを配布する。
10. トレーニング/ウォームアップ
- 10.1. 装備
 コースには、受付を済ませた者のみ入ることができる。**トレーニング時にも、配布を受けたナンバープレートを装着しなければならない。**
- 10.2. 最低時間
 競技前日に最低3時間、当日に30分以上を設ける。ダウンヒルにおいてはトレーニング前に徒歩でのインスペクション、前日に次のカテゴリでタイムドセッションを設ける。(エリート、マスターズ、ユース)
 UCI登録レースに於いては、これにかかわらず、少なくとも競技24時間前にコースが完成していなければならない。
11. セレモニー
 表彰については、原則クロスカントリーの場合には3位確定後、ダウンヒルは競技終了後ただちに表彰式を行う。同時間帯のクラスがある場合にはその最終確定時に行う。他の競技が重なる場合には、次の競技スタート後に行うことがある。**表彰対象者の出席は義務である。**
 表彰時には原則競技用、またはチームの服装とし、**サングラスなどの顔が隠れるものを原則着用できない。**(選手権大会においては別規定あり)
12. リザルト
 大会終了後、2時間以内にリザルトとリターンフォームを下記に送付する。
 送付リザルトは「csvフォーマット」推奨。(EXCELなどでの文字化け、数値変換を避けるため)
- UCI には担当コミッセールがUCI Data Ride サイトにて送付する。(国際公認のみ)
 JCF mtb.jcf@gmail.com および mtb@jcf.or.jp
13. ファーストエイド
少なくとも1台の救急車または緊急輸送車を用意する。少なくとも1名の医療従事者を要する。
 これにかかわらずUCIレースに於いては規則による。
 救護の状況は救護担当者により事故発生連絡表に記録されなければならない。
http://mtb-l.jp/wp/wp-content/uploads/2016/01/accident_report_form.doc
http://mtb-l.jp/wp/wp-content/uploads/2016/01/accident_report_form.pdf
- 救護を受けた競技者またはチーム代表者は、次よりすみやかに保険申請および事故報告を行う。
<https://goo.gl/forms/itDu4BnwZU5FFI1Z2>

14. 各大会テクニカルガイド
各大会のテクニカルガイドには、次の情報が含まれる。
- ・実施種目、クラス
 - ・スケジュール（レース、トレーニング、マネージャーズ・ミーティング）
 - ・コースマップ（距離、高低差、マーシャルポイント、メディカルポイント、F/TAゾーン）
 - ・会場マップ（本部、受付、表彰、アンチドーピング、救護、リフト、駐車場、他）
 - ・タイミング（使用機器の説明、トランスポンダー、ビーム、フォトフィニッシュ等）
 - ・参加申請方法、締め切り
 - ・最寄り病院情報（アクセス、連絡先）
 - ・主催者情報
 - ・適用される UCI ポイントスケール（必要な場合）
 - ・適用される UCI 財務規程（必要な場合）

15. クラス昇格について
上位クラスへの昇格については、年間ナショナルランキングを基準とするもの、および各大会の成績等による特別昇格がある

次の成績を収めたもので資格を満たしている者は、シーズン途中の特別昇格対象となる。

- エンデュランス種目とグラビティ種目別
- 最終戦においてはシーズン中の特別昇格とならない。
(大会終了時点でランキングは確定するため)

チャレンジ、アドバンスにおいて

CJ-U 及び CJ-1 の大会における 1 位及び 2 位の競技者。

CJ-2 の大会における 1 位を暦年中 2 回獲得した競技者。

チャレンジはアドバンスへ、アドバンスは該当するライセンス上の年令クラスへの昇格

年令別クラスとは、次の通り。

エンデュランス系（クロスカントリー等）

男子エリート+男子 U23、男子マスターズ、男子ジュニア、男子ユース

女子エリート+女子ジュニア、女子マスターズ、女子ユース

グラビティ系（ダウンヒル等）

男子エリート（ジュニアを含む）、男子マスターズ、男子ユース

女子エリート（ジュニアを含む）、女子マスターズ、女子ユース

昇格希望者は、大会終了後速やかに、下記アドレスに必要事項を送付し、次回大会より昇格したクラスにて競技を行う。次大会が開催された時点で昇格への権利は消失する。

氏名、チーム名、ライセンス番号、種目、現クラス、昇格希望クラス、昇格権獲得大会日付、昇格権獲得大会名、昇格権獲得の順位

mtb.jcf@gmail.com

16. クロスカントリー・オリンピック (XC0)

16.1. クラス統合 (コンバインドルール)

各クラスとも大会事前受付時に5名に満たない場合には、上位クラスへ、上位が少ない場合には下位クラスと統合して競技を行う。統合されたクラス名は上位クラスのものとなる。競技者は統合されたクラスにて獲得した順位により表彰、ポイントを受ける。ポイントについては自身のクラスでのランキングに反映される。
この規則にかかわらず、テクニカルデレゲート、プレジデント・オブ・コミッセールパネル、レースディレクターの三者協議において安全面、合理的理由により統合を行わない場合がある。(テクニカルデレゲートが任命されない場合は二者協議に於いて決定する)

16.2. 競技時間帯
競技一日開催、各時間帯での競技進行推奨例。

前日 レジストレーション
最低3時間のトレーニング (コースオープン)
17:00- チーム・マネージャーズ・ミーティング

当日
07:30-10:00 レジストレーション (第2時間帯スタート前に締切)
07:30-08:10 オフィシャルトレーニング (クロスカントリー)

第1時間帯 (1h)
08:30- 男子ユース (-1:00)
08:32- 男子チャレンジ (-1:00)、男子オープン
女子チャレンジ、ユース、マスターズ (-1:00)

第2時間帯 (1.5h)
10:00- 男子ジュニア (-1:15)
10:02- 男子アドバンス (1:00-1:15)

第3時間帯 (0.5h) この時間帯を1hとして市民参加型などを含むことができる。その場合には、全体のプログラムスタートを少し早める、終了時間を少し伸ばすなどの調整が必要である。これらのクラス参加者は臨時登録として扱う。
11:30- キッズレース等

第4時間帯 (1.5h)
12:00- 男子マスターズ (-1:15)
12:02- 女子エリート (1:20-1:40)、女子ジュニア (1:00-1:15)、

第5時間帯 (2h)
14:00- 男子エリート (1:20-1:40)

16:00- 終了予定

16.3. ステージング

最新ランキングによりステージングを行う。競技者はステージング開始前に指定されたボックスにて待機する。1ボックスは最大30名

オーダー優先は次の通り
1: UCI個人ランキング
2: ナショナルランキング (シーズン最初のCJ-UまたはCJ-1までは前年度ランキング採用)
3: 下位カテゴリーからの昇格者
4: その他 (受付順等)
*全日本選手権大会のみ、昨年度同クラス優勝者が参加する場合に1番となる。

16.4. ユース、カデットの推奨競技時間は次の通り

男子 25分~35分
女子 25分
小学生高学年 20分~30分
小学生低学年 10分~20分
*IMBA (国際マウンテンバイク協会) 等による推奨競技時間

- 16.5. フィード/テクニカルアシスタンス・ゾーン
ダブル・レイアウトを強く推奨し、CJ-Uでは必須とする。
ゾーンは、プレミアおよびスタンダードのゾーンに区分される。
プレミアゾーンへは発行されるパスが必要。パスは年間、または大会において担当コミッシー
ルより配布される。年間パスの発効があった場合には、再発行に際して実費が必要となる。
- 16.6. 80%ルール
男女エリートにおいては80%ルールを適用する。
他のクラスにおいて適用しない場合は、先頭の競技者がフィニッシュすることをもって競技終
了とする。その時点で、以降すべての競技者は新たな周回に入ることはいできない。
この適用については、TDまたはPCPとレースディレクターにより協議され決定される。

17. ダウンヒル

17.1. 競技形態

次のクラスは、各クオリファイイング・ラウンド（予選）とファイナル（決勝）を行う。

男子ユース	ファイナル進出者 5名
男子マスターズ	ファイナル進出者 15名
女子エリート（ジュニア含む）	ファイナル進出者 10名（最大13名）
男子エリート（ジュニア含む）	ファイナル進出者 30名（最大41名）

チャレンジ、アドバンスはファイナル（決勝）1本の走行による。

17.2 スーパーエリート

男子エリート、女子エリートに於いては、参加する競技者のうち、次の競技者をスーパーエリートとして、

① **最新 UCI ランキングにおいて男子エリート 50 位内、女子 30 位内。**

② **最新 Coupe du Japon ランキングにおいて男子エリート 8 位まで、女子 2 位。**

③ **最新 UCI ランキングにおいて男子エリート 日本国籍上位 3 名、女子 1 名。**

の競技者はファイナルに自動的に参加資格を得る。

いずれの場合も、クオリファイイング・ラウンドにおいて DNS の場合には権利が消失する。

これらの自動昇格によるファイナル進出者のスタート順は男子エリートでは 15 番以降に設定する。

17.3 競技時間帯

競技一日開催、各時間帯での競技進行推奨例。

前日	レジストレーション コースインスペクション（徒歩） 最低3時間のトレーニング（コースオープン）
15:30-	タイムド・セッション（スーパーエリート、エリート、ジュニア、マスターズ、ユース）
17:00-	チーム・マネージャーズ・ミーティング
当日	
08:00-08:30	レジストレーション
08:30-09:00	コースオープン（チャレンジ、アドバンス、女子マスターズ、女子ユース）
09:00-09:50	コースオープン（全クラス）
09:50-10:45	コースオープン（男女エリート、男子ユース、男子マスターズ）
11:30-	競技開始 ファイナル：チャレンジ、アドバンス クオリファイ：男子ユース、男子マスターズ、女子エリート、男子エリート
14:30-	ファイナル：男子ユース、男子マスターズ、女子エリート、男子エリート
16:00-	終了予定

*各クラス間の最低インターバルは3分。

*スタートの間隔はクオリファイ 30 秒、ファイナル 1 分とする。

18. 各クラス登録資格設定
これら各クラス毎に設定されている基準を満たしたものが、それらの各クラスに登録が可能である。

共通基準

- 1) UCI 規定 14 才以上の年齢(当該年 12 月 31 日現在 14 才以上)の公益財団法人日本自転車競技連盟競技登録者(通年)であり、JCF マウンテンバイク・チーム登録手続きを済ませた競技者。
- 2) ここでいうナショナル・ランキングとは、毎年 1 月 1 日より 12 月 31 日までの期間に於いて、JCF ランキング制度に基づく該当大会ポイント集計によるものである。
- 3) UCI 加盟国連盟の競技登録者については小委員会選定による。

●エンデュランス(クロスカントリー)

男子エリート(19 才以上-U23 含む 1999 年以前生まれ)

- 1) 2017 年ナショナル・ランキングによる資格者
 - 男子エリート 1 位-50 位までの競技者。
 - 男子アドバンスよりの男子エリートへの既途中特別昇格者。
 - 男子ジュニア 1-10 位までの年齢対象者(19 才)。
 - 男子マスターズ 1-10 位までの競技者。(マスターズを選択しない場合)
 - 男子アドバンス 1-15 位までの年齢対象者(19 才)。
 - 2) UCI 個人ランキング(クロスカントリー・エリートおよびジュニア)保持者
 - 3) UCI 登録チーム所属の競技者
 - 4) 小委員会特別推薦者
- * 全日本選手権大会では U23・クラスを別開催
* 年度途中でマスターズ、エリート間のクラス変更は不可

男子ジュニア(17-18 才 2000 年-2001 年生まれ)

- 1) 2017 年ナショナル・ランキングによる資格者。
 - 男子ジュニアポイント獲得者
 - 男子ユースポイント獲得者で年齢対象者(この者はチャレンジを選択可能)
 - 男子アドバンスポイント獲得者で年齢対象者
 - 男子チャレンジポイント獲得者で年齢対象者
- 2) UCI 個人ランキング(クロスカントリー・ジュニア)保持者

男子マスターズ(30 才以上 1988 年以前生まれで、このクラスを選択した競技者)

- 1) 2017 年ナショナル・ランキングによる資格者
 - 男子マスターズポイント獲得者
 - 男子エリートポイント獲得者で年齢対象者
 - 男子アドバンスポイント獲得者で年齢対象者
 - 2) 2017 年アドバンスよりの既途中特別昇格者
 - 3) 2017 年男子マスターズ登録者
 - 4) 小委員会特別推薦者
- * 年度途中でエリートへのクラス変更は不可。UCI 登録チーム所属の競技者はこのクラスに参加できない

男子マスターズ 40、50、60 (1978 年以前生まれでこのクラスを選択した競技者)

- 1) 2017 年ナショナル・ランキングによる資格者
 - 男子マスターズポイント獲得者
 - 男子エリートポイント獲得者で年齢対象者
 - 男子アドバンスポイント獲得者で年齢対象者
 - 男子チャレンジポイント獲得者で年齢対象者
 - 2) 2017 年アドバンスよりの既途中特別昇格者
 - 3) 2017 年男子マスターズ登録者
 - 4) 小委員会特別推薦者
- * 年度途中でエリートへのクラス変更は不可。UCI 登録チーム所属の競技者はこのクラスに参加できない

男子ユース(14-16 才 2002 年-2004 年生まれ)

- * 共通基準のみ

男子アドバンス(17 才以上 2001 年以前生まれ)

- 1) 2017 年ナショナル・ランキングによる資格者
 - 男子アドバンスポイント獲得者
 - 男子チャレンジ 1-20 位までの競技者
- 2) 2017 年男子チャレンジよりの既途中特別昇格者
- 3) 2017 年男子エリート、マスターズの登録者で当該年度基準に該当しない者
- 4) 小委員会特別推薦者

- 男子チャレンジ (17才以上 2001年以前生まれ)
- 1) 2017年度男子アドバンスポイント未獲得者。およびチャレンジ登録者
 - 2) 他のクラス基準に該当しない者
 - 3) 新規登録者

- 女子エリート (19才以上-U23含む 1999年以前生まれ)
- 1) 2017年ナショナル・ランキングによる資格者
-女子エリート、マスターズ、ジュニア、チャレンジ、ポイント獲得者
 - 2) UCIランキング(クロスカントリー)保持者
 - 3) UCI登録チーム所属の競技者
 - 4) 小委員会特別推薦者
- * 全日本選手権大会ではU23・クラスを別開催する場合がある
* 年度途中でのマスターズ、エリートの相互クラス変更は不可。

- 女子ジュニア (17-18才 2000年-2001年生まれ)
- * 共通基準のみ

- 女子マスターズ (30才以上 1988年以前生まれ、このクラスを選択した競技者)
- 1) 2017年女子エリート、マスターズ登録者で年令対象者
 - 2) 2017年ナショナル・ランキング、ポイント獲得者
 - 3) 小委員会特別推薦者
- * 年度途中でのエリートへのクラス変更は不可。UCI登録チーム所属の競技者はこのクラスに参加できない

- 女子ユース (14-16才 2002年-2004年生まれ)
- * 共通基準のみ

- 女子チャレンジ (17才以上 2001年以前生まれ)
- 1) 2017年女子チャレンジ登録者
 - 2) 他のクラス基準に該当しない者
 - 3) 2018年度新規登録者

- * 各ランキング参照に於いては年齢クラスに関係なく総合の順位が基準となる。
* UCI登録チーム所属の競技者はエリートとなる。
* 特別昇格は別途、昇格手続きを行う必要があります。(2017年最終大会(CJ-1)での資格取得者含む)

●グラビティ (ダウンヒル)

- 男子エリート (ジュニア含む 17才以上 2001年以前生まれ)
- 1) 2017年ナショナル・ランキングによる資格者
-男子エリート1位-40位まで
-男子アドバンスよりの男子エリートへの既途中特別昇格者
-男子マスターズ1-10位まで。(マスターズ選択可能)
-男子ユース1-5位までの年令対象者(17才以上)。
-男子アドバンス1-15位まで。
 - 2) UCIランキング(ダウンヒル)保持者
 - 3) UCI登録チーム所属の競技者
 - 4) 小委員会特別推薦者
- * 年度途中でのマスターズ、エリートの相互クラス変更は不可
* 全日本選手権においてもジュニア・エリート統合で行う

- 男子マスターズ (30才以上 1988年以前生まれ、このクラスを選択した競技者)
- 1) 2017年ナショナル・ランキングによる資格者
-男子マスターズポイント獲得者
-男子エリートポイント獲得者
-男子アドバンスポイント獲得者
-男子チャレンジポイント獲得者
 - 2) 2017年アドバンスよりの既途中特別昇格者
 - 3) 2017年男子マスターズ登録者、エリート登録者で年令対象者。
 - 4) 小委員会特別推薦者
- * 年度途中でのマスターズ、エリートの相互クラス変更は不可

- 男子マスタース 40、50、60** (1978年以前生まれで、このクラスを選択した競技者)
- 1) 2017年ナショナル・ランキングによる資格者
 - 男子マスタースポイント獲得者
 - 男子エリートポイント獲得者
 - 男子アドバンスポイント獲得者
 - 男子チャレンジポイント獲得者
 - 2) 2017年アドバンスよりの既途中特別昇格者
 - 3) 2017年男子マスタース登録者、エリート登録者で年令対象者。
 - 4) 小委員会特別推薦者
- * 年度途中でのマスタース、エリートの相互クラス変更は不可

男子ユース (14-16才 2004年-2002年生まれ)

* 共通基準のみ

- 男子アドバンス (17才以上 2001年以前生まれ)
- 1) 2017年ナショナル・ランキングによる資格者
 - 男子アドバンスポイント獲得者
 - 男子チャレンジ1-10位まで
 - 2) 2017年男子チャレンジよりの既途中特別昇格者。
 - 3) 次のクラス基準に該当しない者 (男子エリート, マスタース)
 - 4) 小委員会特別推薦者

- 男子チャレンジ (17才以上 2001年以前生まれ)
- 1) 2017年度男子アドバンスポイント未獲得者。およびチャレンジ登録者
 - 2) 他のクラス基準に該当しない者
 - 3) 2017年度新規登録者

- 女子エリート (ジュニア含む 17才以上 2001年以前生まれ)
- 1) 2017年ナショナル・ランキングによる資格者
 - 女子エリート、マスタース、ジュニア、チャレンジ、ポイント獲得者
 - 2) UCI ランキング (ダウンヒル) 保持者
 - 3) 小委員会特別推薦者
- * 年度途中でのマスタース、エリートの相互クラス変更は不可

- 女子マスタース (30才以上 1988年以前生まれ)
- 1) 2017年女子エリート、マスタース登録者
 - 2) 2017年ナショナル・ランキング-女子チャレンジ、ポイント獲得者
 - 3) 小委員会特別推薦者

女子ユース (14-16才 2004年-2002年生まれ)

* 共通基準のみ

- 女子チャレンジ (17才以上 2001年以前生まれ)
- 1) 2017年度女子チャレンジ登録者
 - 2) 他のクラス基準に該当しない者
 - 3) 2017年度新規登録者

- * 各ランキング参照に於いては年齢クラスに関係なく総合の順位が基準となる。
- * UCI 登録チーム所属の競技者はエリートとなる。
- * 特別昇格は別途、昇格手続きを行う必要があります。(2017年最終大会 (CJ-1) での資格取得者含む)

2019年度基準については2018年8月正式発表予定

19. その他

- * 各主催者は、会場での盗難紛失等のトラブルについては一切責任を負いません。
- * 大会当日の公共交通機関、道路事情等による遅刻については、主催者は一切責任を負いません。
- * 各主催者が認めるものについて、写真等の委託販売を行うことがあります。
- * 各主催者は、個人情報の保護法令を遵守し、参加者の個人情報を取り扱います。
- * 本記載項目は、改良のためなどのために予告なく変更されることがあります。最新版については公益財団法人日本自転車競技連盟ホームページ (<http://www.jcf.or.jp>)、または一般社団法人MTBリーグホームページ (<http://www.mtb-l.jp>) にて記載されます。

以上

● ランキング算出用ポイント表 (ナショナル、Coupe du Japon に適用)

20151101

	全日本選手権大会 C J-U 全種目・クラス共通	C J-1 全種目・クラス共通	全日本選手権大会等 下記クラス設定時 X C U 2 3	C J-2	全日本選手権大会、 C J-U, C J-1 に おける DHI クオリ ファイ (予 選)、XCT 等
1	300	250	200	75	20
2	240	200	150	60	17
3	210	175	125	53	15
4	180	150	100	45	13
5	168	140	75	42	11
6	156	130	60	39	10
7	144	120	50	36	9
8	120	100	40	33	8
9	108	90	30	30	7
10	102	85	27	27	6
11	96	80	24	24	5
12	90	75	21	21	4
13	84	70	19	19	3
14	78	65	17	17	2
15	72	60	16	16	1
16	66	55	15	15	-
17	60	50	14	14	
18	54	45	13	13	
19	48	40	12	12	
20	46	38	11	11	
21	44	36	10	10	
22	41	34	9	9	
23	39	32	8	8	
24	36	30	7	7	
25	34	28	6	6	
26	32	26	5	5	
27	29	24	4	4	
28	28	23	3	3	
29	27	22	2	2	
30	26	21	以降 1	以降 1	
31	25	20			
32	24	19			
33	23	18			
34	22	17			
35	21	16			
36	20	15			
37	19	14			
38	18	13			
39	17	12			
40	16	11			
41	15	10			
42	14	9			
43	13	8			
44	12	7			

45	11	6
46	10	5
47	9	4
48	8	3
49	7	2
50	6	以降1
51	5	
52	4	
53	3	
54	2	
55	以降1	

●チーム登録競技者の事故報告（傷害保険手続き）について

公認大会での負傷等についての保険請求手続きは、次のサイトより記入して送信してください。

<https://goo.gl/forms/itDu4BnwZU5FFI1Z2>

または、下記の内容を本人または代理人より電子メールに（mtb@jcf.or.jp）で送付願います。題名は、保険請求（****大会 氏名）としてください。

連盟ではメール情報確認後、スポーツ安全協会へ連絡し、その後2週間ほどでスポーツ安全協会の保険幹事代理店（東京海上日動火災保険株式会社）より申請された住所へ「傷害保険金ご請求のご案内書」を送付します。

治療が終了しましたら必要事項を記入・押印、必要書類を添えて（領収証等）JCF宛に郵送ください。
141-0021 東京都品川区上大崎3-3-1 自転車総合ビル5階 公益財団法人日本自転車競技連盟

=====

チーム名

氏名&フリガナ

生年

郵便番号

住所

マンション・ビル名

生年月日

年齢

電話番号（自宅等）

電話番号（昼間に連絡がつくもの）

事故発生日

事故発生の時刻（●時頃など）

事故発生場所

事故の状況（何が原因で、どの様になったのかを詳しく記載。「レース中、最終コーナーでスリップして転倒」など詳細に）

けがの部位

けがの傷病名

治療期間（見込み）入院（ ）日。通院（ ）日

治療病院名（複数可）

=====

※保険内容の詳細については、スポーツ安全協会のサイトよりご欄ください（加入区分AWまたはC）

●本記載内容は改良のためなどのために予告なく変更されることがあります。最新版については公益財団法人日本自転車競技連盟ホームページ（<http://www.jcf.or.jp>）、または一般社団法人MTBリーグホームページ（<http://www.mtb-l.jp>）にてご確認ください。

以上